

小中学校の耐震化率は70数%へ

新年度は4校で耐震工事

新年度予算では、沼小の屋内運動場の耐震設計委託料398万円が予算化されているだけですが、この3月議会や昨年の議会のなかで審議された09年度の補正予算において、昨年の国会で成立した国の第1次・2次補正予算の経済対策における臨時交付金などを活用し、



耐震工事が予定されている川田小西校舎

白沢小の屋内運動場(9,143万円)、利根東小の屋内運動場(5,459万円)、多那小校舎(4,220万円)、川田小西校舎(2億3,370万円)の4校で耐震補強改修工事が実施されます。これらが完成しますと沼田市の小中学校の耐震化率は、70数%まで前進します。

ただ、民主党新政権は、新年度に全国で耐震改修が5000棟見込まれていたにもかかわらず、予算をばっさりと削減してしまったので、2200棟しか実現せず、2800棟分の予算が足りません。鳩山総理は、国会で、「経済危機対応・地域活性化予備費」で必要な場合は対応できる旨の答弁を行っていますが、予備費ではなく、補正予算を含めて対応する予算措置をとることが必要です。

市営住宅入居待機者は80世帯

市営住宅の増設を要求…井之川議員

市営住宅の入居申請をして待機している世帯は、80世帯です。そのうち50世帯が、高層の谷地端第2住宅の待機世帯です。合併後の沼田市は、23団地414戸が市営住宅として管理されていますが、老朽化などで、募集停止している空き家が4団地84棟あります。これらが、改修あるいは建替えされれば、待機世帯は基本的には解消されます。最近では、民間住宅を市が借上げて市営住宅として利用するなどのやり方も他市では取り組まれていますし、国の補助制度なども整備されつつあります。厳しい経済状況のなかで、家賃の安い市営住宅の必要性は住宅セーフティネットとしても特に高まっています。



南明団地の空き家

市予算審査特集

(仮称)利南運動広場は今年も花畑 有効活用を要求…井之川議員

(仮称)利南運動広場については、新年度は草刈りだけが予算化されていますが、昨年同様コスモス等の花を咲かせる予定です。井之川博幸議員は、4億6千万円かけた土地なので、有効利用を要求しました。市では斜面のまま、芝広場などにしたいと考えているようです。

井之川議員は、「基本計画」にそって野球場とテニスコートをつくれば数億円もかかることから、計画を変更して、少年野球やソフトボールが出来るくらいの平面を確保し、多目的広場として利用できるようにするくらいならば、多額の予算は必要ないのではないかと「検討」を要求しました。

沼須産業団地の販売に市も努力を

元は利南運動広場用地でしたが、県企業局の計画していた住宅団地用地と交換され、県企業局が産業団地として開発し、昨年販売を始めましたが、現在でも売れていません。この土地は5年後までに売れなかった場合は、沼田市が買い取る約束をしています。今までも億を超える負担をさせられてきているのに、この上買い取りとなると約3億円の負担増になります。なんとしても売らなくてはならないので、県企業局まかせだけでなく、沼田市もいっそうの努力をしなければならないのではないのでしょうか。

中山間地域等直接支払交付金が増額に

中山間地の協定を結んだ「地区」に交付金が支払われる制度が、新年度は拡充され今年度の3,730万円から4,196万円に増額されます。この制度は、EUで行なわれている所得保障までは進んでいませんが、中山間地の農業者が農業や国土を守っている役割を評価して交付金が支払われるので、条件不利地域の農業者を守るためにも、いっそうの拡充が必要です。

2010年3月28日 No.512

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料